

令和5年度 学校関係者評価報告書

評価対象期間 自：令和4年4月 1日
至：令和5年3月31日

評価日 令和5年10月4日

令和6年4月3日

学校法人 窪田学園
窪田理容美容専門学校

目 次

I	学校関係者評価の概要及び実施状況	2
1.	学校関係者評価の基本方針	2
2.	学校関係者評価委員名簿	2
3.	学校関係者評価委員会の実施状況	3
4.	学校関係者評価の評価方法	4
II	学校関係者評価委員会 評価結果報告書	4
	総評	4
1.	本年度に定めた重点的に取り組む必要がある目標・計画	5
2.	評価項目の達成及び取組状況	7
基準 1	教育理念・目的・育成人物像等	7
基準 2	学校運営	7
基準 3	教育活動	8
基準 4	教育成果	8
基準 5	学生支援	9
基準 6	教育環境	10
基準 7	学生の募集と受入れ	10
基準 8	財務	11
基準 9	法令等の遵守	11
基準 10	社会貢献	12
基準 11	国際交流	12
	総合評価 (各委員のコメント)	13
III	学校関係者評価委員会議事録	14

I. 学校関係者評価の概要及び実施状況

1. 学校関係者評価の基本方針

(1)基本方針

窪田理容美容専門学校における学校関係者評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて行う事を方針とし、実施および公表については「窪田理容美容専門学校評価実施規程」に則って実施される。

(2)目的

窪田理容美容専門学校における学校関係者評価の目的は以下の通りである。

- ①自己点検評価の結果を学校関係者により評価し、自己点検評価の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者（卒業生、関係業界・団体、保護者、地域企業など）らとの連携を図り、意見を聴取し、学校運営改善を努める。

(3)実施

窪田理容美容専門学校における学校関係者委員会は以下のように年2回実施される。

- ① 第1回目(10月実施)の委員会は主に、前年度の実績を評価した自己点検評価の報告を行い、委員会にて評価を実施する。また各学科の教育課程編成委員会で検討された内容についても報告する。
- ② 第2回目(3月実施)の委員会は主に、1回目での評価・意見に基づき、その内容を反映させた取組み・実績を報告する。また各学科の教育課程編成委員会で検討された内容や次年度以降の重点的に取り組む目標・計画を報告する。

2. 学校関係者評価委員名簿

窪田理容美容専門学校の学校関係者評価委員は以下の通りである。

	氏名	所属	役職
関係企業・団体	五十嵐 義昭	日本ヘアデザイン協会(NHDK)	元理事
業界団体	山崎 裕介	東京都理容生活衛生同業組合	理事
関係企業・団体	坂本 輝雄	有限会社プラテ	代表取締役
関係企業	北岡 徹	株式会社ジュノン	代表取締役

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

1 学校関係者委員会実施日時・場所

日時：令和5年10月4日（水） 16：00～17：30

場所：窪田理容美容専門学校 4階会議室

2 学校関係者評価委員会 進行状況

- | | |
|-------------------------|-------------|
| (1) 開会（挨拶、配布資料確認） | 16：00 |
| (2) 出席者紹介（評価委員、窪田学園教職員） | 16：00～16：15 |
| (3) 理事長・校長挨拶 | 16：15～16：25 |
| (4) 自己点検評価結果の解説及びその評価 | 16：30～17：30 |
| ①重点的取り組み項目（評価判定） | |
| ②教育理念・目的・育成人物像等（評価判定） | |
| ③学校運営（評価判定） | |
| ④教育活動（評価判定） | |
| ⑤教育成果（評価判定） | |
| ⑥学生支援（評価判定） | |
| ⑦教育環境（評価判定） | |
| ⑧学生の募集と受け入れ（評価判定） | |
| ⑨財務（評価判定） | |
| ⑩法令等の遵守（評価判定） | |
| ⑪社会貢献（評価判定） | |
| ⑫国際交流（評価判定） | |
| 各項目の前回評価後の取り組み説明 | |
| (5) 質疑応答・意見交換 | |
| (6) 閉会 | |

4. 学校関係者評価の評価方法

本学園の自己点検・自己点検評価を重点的に取組む項目及び、11分類59項目についての自己点検評価の結果を1段階から4段階の4段階評価で評価を行い、自己点検報告書にまとめる。

学校関係者委員が行う学校関係者評価は自己点検評価報告書の評価について「適切」、「不適切」の2択で評価を実施する。各項目については当日に取組みや目標及び計画についての説明を自己点検評価委員から受け、総合的に判断する。評価報告書に記載されている「総合評価結果」については、各基準の項目の平均値ではなく、各学校関係者評価委員の評価を反映させた評価結果としている。

II. 学校関係者評価委員会 評価結果報告書

総評

今年度の窪田理容美容専門学校の自己点検評価結果を拝見し、学校全体の取組みや目標などが記載されており、評価項目も隅々まで行き届いたものだと考えます。窪田理容美容専門学校は73年という理美容学校でも長い歴史を持ち、業界に多くの卒業生を輩出している学校ですが、今回、学校関係者評価委員会に参加して、我々、各業界や立場の異なる学校関係者評価委員の立場として評価やご意見を述べさせて頂きました。

全体的な評価としましては至って適正な学校運営・活動を実施している学校だという結論を再認識致しました。前年度に挙げられた目標や計画を全てという訳には参りませんが、着実に推し進められており、安心致しました。劇的な変化ではなく、確実に一歩ずつ前進している姿に好感が持てる次第です。まだ進捗状況としては未達成のものや計画段階にある項目もございますが、窪田理容美容専門学校が理美容業界にとって、社会的責任を果たそうという姿勢は評価に値すると思えます。

本評価委員会の形式も毎回変化するのも、改善努力を行おうとしている現われだと感じ、今後も窪田理容美容専門学校と各関連業界および、卒業生や保護者など多くの関係者と連携を取り、様々な取組みを実施し、素晴らしい学校と言われる学校づくりに期待致しております。

窪田理容美容専門学校
学校関係者評価委員会一同

1. 本年度に定めた重点的に取り組む必要がある目標・計画

重点項目 1 職業実践専門課程に係る取り組み

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・実務実習で得た結果から、モラル、主体性等人格形成にテーマを置いて改めて指導を強化するなど、フレキシブルに取り組んでいる。
- ・企業との連携は特に時代の流れを汲むという点、把握するという点で良い取り組みで、指導の改善につながるものとして良かったと思います。
- ・企業との連携をしっかりと精進する事。時代にあった構成を。
- ・企業と連携をすることで、学生の意識が高まり、より実践的な知識と経験ができるので良い事。
- ・柔軟な体制がバランスをとるのに有効に働く傾向にあります。
- ・毎年、目標・計画に基づき、改善されています。
- ・コミュニケーション能力向上に向けたカウンセリング力をつける心理学などの積極的な取り組みを行うのも良いと思います。
- ・国家試験の科目（実技も含む）に関して整合性を確認する取り組みは非常に評価出来ると思います。今後も継続して頂きたいと思います。
- ・教員の企業研修として連携サロンに1～2日出勤してサロンの実状を体験できると良いと思います。
- ・企業側の求める人材の質を理解し、改革しようとする姿勢に明るい未来が見えます。
- ・例年通りの確に実務実習が実施され、学生が業界の実態を把握する事ができるようになったと思う。

重点項目 2 カリキュラムの見直しとシラバスの精査

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・実務実習の成果は生徒の正しい感想をまとめてほしい。
- ・学生、教員共にシラバスを把握して行動することで目標を達成できます。常に手直しを加え、育成に活かしたい。
- ・国家試験などの取り組みは成果として表れている。カリキュラムの見直しをしていることで生徒のレベルも上がって来ているのではないのでしょうか。
- ・専門学校としてシラバスを基に学生が自らにテーマを与え研究する形式をもっと取り入れる事も必要かと考えます。
- ・コミュニケーション能力アップの指導は必要だと思います。

- ・企業が求める課題のリサーチから見て出来る。一部カリキュラムの修正があっても良いと思う。
- ・シラバスの定義の重要性はよくできている。
- ・シラバスの役割のうち幾つかは構築のスペースがあると考えられます。
- ・主体性を持たせることを目標に授業を展開した事は非常に評価出来ると思います。 人間力の向上、仕事に向かう姿勢等もますます充実させて頂きたいと思います。
- ・企業が行うマナー講習（モラル講習）など、躰につながる学生への指導は、必要な人材と考えます。
- ・学習意欲の低い学生をいかに巻き込んで行くかが教員の教育技術の見せ所です。学生がそれぞれの未来像を描けるか好奇心を持たせられるかが重要です。

重点項目 3 教職員研修及び人員確保への取組み

総合評価結果 ③	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・学園の御指導力を期待します。
- ・適切に採用及び研修を実施し、スキルアップに取り組んでいる。
- ・教員研修について内容など精査したり、別途チェックする機会があると良いかと思ひます。
研修を指導する人材の選出や基準の見直しも視野に入れる。教員採用は一定の成果が出ていることは喜ばしい運営の成果。
- ・教員自ら学ぶ姿勢と環境づくりが大切です。
- ・サロンの実態を見学に行くような取り組みや、よりサロンワークに近い研修ができると学生の意識も変わるし先生方もよりポジティブな授業に取り組めると思ひます。
- ・教員の質の向上（指導力・忍耐力・精神力）
- ・研修目的及び目標に対し、適確な実施内容です。
- ・職員の取り組み・実績は良いと思ひます。学生により近い位置で指導、見守が出来ていると思ひます。
- ・近い距離での組織作りと卒業生とのエルモサ・Kを通じた繋がりが、研修や教育の充実度への強化になると考えます。
- ・人材育成において先生の役割りは非常に重要だと思ひます。引き続き研修等も充実出来ると思ひます。
- ・多忙にもかかわらず、いろいろな研修を企画、実行されています。次年度への積み重ねに期待しています。

2. 評価項目の達成及び取組状況

基準1 教育理念・目的・育成人物像等

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・一般社会に向けて（高校、大学等）学園の特色を示して行くべきと思う。
- ・校訓に基づき育成する人物像が明確であり、また時代のニーズに応じた教育を行っている。
- ・美容界以外でも企業の理念教育は注目されていることで、とても大事な項目。
より分かりやすく紐解く授業があってもよいと思います。人に幸せを与えるということとは何なのか？共に幸せになろうということは、自分がどうなっていたら良いのか？など基本理念ワークなどできるとよいと思います。
- ・教育理念に基づき、時代性に適応した教育構想を実施されています。
- ・伝統や新しいニーズを変わらず守り続け、ニューノーマルに対応し、理容師美容師として一生懸命仕事をして、社会に貢献していく。一生涯理美容業界で活躍する人材教育に感謝します。
- ・日本の所得水準が世界の中で低くなり、理美容業種はさらに国内でも低いです。業界に人を残すには技術者に対する評価を高くし、それに見合う賃金を得られる環境づくりと人材の
- ・入学式やイベントには必ず理念を伝える、理念教育を行っているので周知・浸透していると思います。将来に向けたインフラ整備をしているのが素晴らしい。
- ・理念、育成人物像などの周知に関しては徹底していただけるとさらに学生の人格形成に寄与すると考えます。(1-1について)
- ・本学園のもつ歴史や特色を活かし、業界内でも諸団体と連携して職業教育だけでなく業界の発展にも大きく影響しているように感じています。

基準2 学校運営

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・AIでオーナー、生徒のデータをまとめて、アップしておいてほしい。
- ・それぞれの項目においてシステムが良く機能している。
- ・教育活動などSNSでの公開は出来ているが、拡散力が弱い。求人先の高校や父兄などにフォローになってもらい、リツイートしてもらおう取り組みも必要では？
- ・教育活動の情報公開はもっと動画を活用した方が、閲覧者に理解されやすい。ひいては入学希望につながると思います。

- ・コンプライアンス体制を整備するには、多くの視点でとらえる必要性を感じ取れる。
- ・色々な取り組みを適確に遂行されていると感じます。今後も続けて頂ければと思います。
- ・組織運営でいえば校長からのトップダウンで共有できていると思います。
- ・(2-8について)規定は整備されていると思いますが、先生を志望する人材が増えるような施策(例えば昇給のプラン等)が明確になっていくと良いと思います。
- ・(2-9について)現場の教職員のやりがいに繋がっていくと思います。
- ・学園の定める理念や目標に沿って運営方針はなされているように思う。それに大きく捉われず柔軟な思考も持たれていると思う。

基準3 教育活動

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・教職員のレベル向上（技術を含めて）に成果が出て来ていると思う。
- ・教職員に対する研修等評価されることであるが、更なる努力を続けたい。
- ・教育活動として、知識・技術において研修後の共有とそれぞれの理解度のギャップを無くすための取り組みで学校組織の強さが出来上がっている。(内容把握度、疑問を出し合い消して行く時間を作る)レベルアップ=底上げが必要。
- ・教員の授業能力向上は、模範となる動画を制作するとそのプロセスで気付きが生まれると思います。
- ・教員教育も営業後のクラブ活動的な短時間集中型の勉強会。外部講師や校内での技術や情報共有の場を作れるようにすると効率よくレベルアップできると思います。
- ・教員確保については資質を有すると思われる学生も視野に入れ採用活動を行い、人材育成に更に邁進されたい。
- ・生徒への指導だけでなく、教員の指導研修が常に行われている状況は運営側の努力の賜物です。
- ・良い理美容師育成の為の学園の本気度が伝わってくる内容になっていると思います。
- ・人間力育成の内容が多くても良いのかなと思います。
- ・理美容業界の中でも職種が多様化していますが、教育もニーズに的確に対応できています。
- ・指導者の育成にも力を入れている。
- ・全てにおいて完全には難しい項目ですが、先生方のレベルアップに関しての研修は大切だと思います。
- ・バランスよく活動が行われていると思う。特に職員の能力開発のための研修等は思考がなされているように思う。

基準4 教育成果

総合評価結果 ③	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・実務実習を通じて職場体験をする事で、離職率を低減する効果が得られると良い。
- ・学生と企業のマッチングを就職指導する時の基準の一つとして活用されると離職率の低下につながると思います。一定のサポートは出来ていて結果にもつながっていると思います。
- ・世相によって退学理由も異なってくるでしょうが、早期の問題解決対応が大切でしょう。
- ・生徒の就職先の条件を無記名にてグラフにして希望するオーナーに記すべき。
- ・退学・退職共に人間関係に因する事が1番多いので、適確なアドバイスを出来る指導者の育成が必要
- ・学生の求める就職は多種多様になってきているので、担当するキャリアサポート課は大変かと思えます。先生方のヒアリングは素晴らしいです。
- ・外部からモチベーションを上げるのならベター。やる気のある学生が全力を發揮できる環境の強化が重要。
- ・早期離職の生徒さんがどんな形であれ美容室、理容室に再就職出来る仕組みがあると良いですね。
- ・教員指導の下、面談やカウンセリングで生徒の意識を高める活動は効果的に行われていると思う。
- ・オンライン配信の影響もある中で、基礎的な準備や知識などの工場を目的とした支援や授業の有効的な考え方も必要に思う。

基準5 学生支援

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・支援状況は良いと思います。
- ・経済的支援策が多岐にわたり考えられています。就職先と返済計画を共有し、離職の一因にならないように配慮したい。
- ・近年まれにみる手厚さで支援出来ていると思います（経済的にも環境面も）。卒業してからの行き先や学校側からのTEL又はLINEなどの手段を使い、支援・協力態勢が出来上がると学生も心強いのではないのでしょうか？
- (提案) 学生に対する支援は手厚く出ていると思います。もう少し卒業生本人と連絡が取れるよう手段を考えられるといいですね。就職担当専用携帯ラインを設立して学校といつでも連絡が取れるようにしたらどうですか。(就職担当または学校→管理者が学校・例えば総務部など、ライン@などを活用)
- ・奨学金を利用している学生は、返済の経済負担が就業してからの課題になるので、企業側にも協力を求める必要がある。
- ・就職までは順調だが、卒業後の生徒とのつながりを、つながり方を改善して再就職先のあっせんを打ち出し、関わり続けられる仕組みづくりが必要。
- ・学生支援という言葉柔軟に捉えてみるのも良い。

- ・エルモサ・Kの存在も大きいと感じています。
- ・様々な支援が有り、良いと思います。非常に良いと思います。
- ・支援のシステムは充実しています。国に対し返済浮揚の奨学金を拡大してもらい働きかけはできないもののでしょうか？
- ・在校生に関しては適切、卒業生は一度離れてしまうと支援が難しくなるので、グループラインやSNSで繋がるようにしておくとうい。
- ・適切に支援、連携が取れていると思う。まだまだ強化することも可能であると思う。

基準6 教育環境

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・学生が自分の生き方、考え方、性格に合う職場を選ぶ基準を実感する為に、インターンシップ制はとても良い制度だと思います。
- ・企業との連携は大切だが、環境面では十分に取り組み成果を出している。整備も十分である。
- ・インターンシップで実社会を体験することにより、学校での教育が現実味を帯び、学生にとっては意識を再構築する機会になると思います。
- ・校内環境・設備・学生寮などここまでそろえている学校は他に無いです。整備されていると思います
- ・多岐にわたる教育環境を的確に整備し実現されています。
- ・防災、安全対策についてしっかりと整備されているのは安心です。
- ・各種支援や対策等、多方面で適切に整備ができています。

基準7 学生の募集と受入れ

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・早めに入学内定を示しておいてほしい。
- ・SNS、YouTubeなど動画で多くの高校生に疑似体験してもらい、その上でオープンキャンパスで実体験をすることでファンを獲得。先生方の言葉も動画配信できるといいですね。
- ・学生募集活動は、各県・地域のどのレベルに対して活動の基準を合わせるか？中堅・中の上・中の下・下層など。又は、20～25年前の卒業生の出身高から息子・娘など2世が入学するケースも多いので、アプローチしやすいと思う。これで一定の成果が出せるのでは？高速バスの発着地域での募集など。
- ・今回のコロナ渦により、新しい募集活動を強いられるようになりましたが、更なる工夫で円滑に進めて下さい。

- ・ホームページは一層の充実が必要。
- ・学生募集のメインはオープンキャンパスの実体験が一番インパクトがありますが、それに参加するキッカケとなるホームページ、ユーチューブ、ティックトックの活用がますます大事になるでしょう
- ・SNS、情報発信など高校生に対する所はある程度出来ている。上手に親を巻き込むアイデアがあるといいですね。子供から親に動画や学校情報が渡せる様な仕組み。
- ・大学生や外国人への入り口が広がると良いと思います。サロンや企業といった出口は輝きを持っている。
- ・オーキャンの日数を増やし、接触回数を増やしている取り組みは素晴らしい。適切かつ妥当である。
- ・教材費を企業と連携してコストを下げ、学生負担の軽減できないか？

基準 8 財務

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・監査のほかに年2回の審査を設けると良い。
- ・十分な取り組みで安定した状態を築けている。
- ・安定という経営努力は高評価に値する。すばらしいです。 ・問題なし
- ・人口減少が課題となる中、時代のニーズを先取りして学生数を獲得し、財務の安定基盤を築いていただきたい。
- ・今以上に教職員の働き方ややりがい向上に向けた予算配分があると良いと思う。

基準 9 法令等の遵守

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・運営委員会にて、自己点検のリスクを発表して議題にしてみたら良いと思います。
- ・法令や基準に対して適正な運営は出来ていると思う。9-54は劇的な成果を出すためではなく、少しずつ改善されることが多いので、取り組みはしっかり出来ている。
- ・自己点検の公開はセキュリティーしっかりと。
- ・問題点はあっても、すぐに改善出来る課題ばかりでは無いので、重要度の高いものから順に行っていると、一定の評価は受けるべき。
- ・対策と改善を柔軟に行い、準備も整えている
- ・新しい法令が施行され続けますが、滞りなく対応されています。

- ・即日対応、情報公開、自主点検と常に進んで行く姿勢は素晴らしい。
- ・法令を遵守し適正な運営がなされていると思う。

基準 10 社会貢献

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・学生の自主的なボランティアを募ってみたら良い。
- ・地域社会に貢献されています。
- ・貢献活動は十分に行っていて、学生とのコミュニケーションの源になるので、災害時にも支援態勢が取れると素晴らしい。
- ・高齢化社会に置けるボランティア活動はこれから増々必要とされるでしょう。
- ・ボランティア活動は今年は大変でしたね。
- ・理容・美容という業態を活かし、社会貢献しています。
- ・特に地域・社会への貢献は出来ていて評価も高いと思う。
- ・学生時代の社会貢献とは何か、社会人の社会貢献について納税以外にどう捉え、支援やボランティアを在校生にどのように伝え届けるのか、考えてみるのも良い。
- ・社会貢献、ボランティア等は教育の一環としてとても大切だと思います。引き続き積極的に取り組まれる事を期待します。
- ・理美容業界は福祉の精神が根底にあるので、ボランティア活動は道理にかなない素晴らしいものです。
- ・今後はコロナ前の活動のように動いていくので忙しくなると思います。
- ・今後さらに進めていただきたい項目です。

基準 11 国際交流

総合評価結果 ③	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・学園に委ね頑張って下さい。
- ・就労の法整備を前提に準備が必要になるでしょう。
- ・近年こちらからというよりも、海外から出向いて来て交流を図るケースも出て来ていることを耳にします。言葉の壁が一番難しい。
- ・外国人労働者の受け入れ態勢の法整備が先決でしょうが、教育対象者を世界に広げることも視野に入れておく必要性を感じます。

- ・出来て居ると思うが、言葉の壁があるとおもいます。その為の専属の通訳は雇えてないですね。
- ・日本での就職困難を抜本的に改善する方法を検討していきたい。
- ・今後ますます必要な状況を向かえるであろうことを精査し、的確に対応されることを望みます。
- ・言葉の問題や取り組み方や考え方の違いで大変ですが、いつもまえむきで受け入れる準備をされているので適切です。
- ・今後のグローバル化について考慮し、柔軟に取り組んでいくことを望む。

総合評価（各委員のコメント）

五十嵐 義昭 委員

コロナ禍で一気に時代が先に進み、いろいろな問題が山積していますが、的確な問題解決策を見出し、教育機関としての役割を果たし発展されることを期待します。

山崎 裕介 委員

理美容業を担う学生に向けて、有意義な会となるように情報発信に努めてまいります。今後共宜しくお願いいたします。

坂本 輝雄 委員

当方も企業（店舗）の学校への指導の協力は惜しみなく致します。何なりと申し付け下さい。いつもですが、学校側の生徒への対応や運営努力は素晴らしいと思います。引き続きよろしくお願い致します。

北岡 徹 委員

今回も、ありがとうございます。いつも様々な意見が聞けて、参考になります。今回は特に国際化(交流)に向けての御校の考え方をお聞きでき、良かったです。御校と先生方がより良くなることを願っております。今後共宜しくお願い致します。

Ⅲ 学校関係者評価委員会議事録

令和5年10月4日

令和5年度 第1回 学校関係者評価委員会議事録

1. 日 時 : 令和5年10月4日(水) 16:00~17:30
2. 場 所 : 窪田理容美容専門学校 4階会議室
3. 出席者委員 :

(1) 学校関係者委員

氏 名	所 属	役 職
五十嵐 義昭	日本ヘアデザイン協会(NHDK)	理事
山崎 裕介	東京都理容生活衛生同業組合	理事
坂本 輝雄	有限会社プラテ	代表取締役
北岡 徹	株式会社ジュノン	代表取締役

(2) 学校教職員

氏 名	役 職
窪田 多美子	理事長
中村 雅江	校長
窪田 崇	事務長
杉本 邦夫	学生課・キャリアサポート課 課長
小笠原 努	理容学科長
中村 和也	理容学科主任
佐々木 久仁江	美容学科長
渡辺 れほな	美容学科主任
齊藤 昌利	美容教員

4. 進行状況

- (1) 開会(挨拶、配布資料確認) 16:00
- (2) 出席者紹介(評価委員、窪田学園教職員) 16:00~16:15
- (3) 理事長・校長挨拶 16:15~16:25

(4) 自己点検評価結果の解説及びその評価 16:30～17:20

- ①重点的取り組み項目（評価判定）
- ②教育理念・目的・育成人物像等（評価判定）
- ③学校運営（評価判定）
- ④教育活動（評価判定）
- ⑤教育成果（評価判定）
- ⑥学生支援（評価判定）
- ⑦教育環境（評価判定）
- ⑧学生の募集と受け入れ（評価判定）
- ⑨財務（評価判定）
- ⑩法令等の遵守（評価判定）
- ⑪社会貢献（評価判定）
- ⑫国際交流（評価判定）

(5) 質疑応答・意見交換 17:20

(6) 閉会 17:30

令和6年4月3日

令和5年度 第2回 学校関係者評価委員会議事録

1. 日 時 : 令和6年4月3日(水) 16:00~17:30
2. 場 所 : 窪田理容美容専門学校 4階会議室
3. 出席者委員 :

(1) 学校関係者委員

氏 名	所 属	役 職
山崎 裕介	東京都理容生活衛生同業組合	理事
坂本 輝雄	有限会社プラテ	代表取締役
北岡 徹	株式会社ジュノン	代表取締役

(2) 学校教職員

氏 名	役 職
窪田 多美子	理事長
中村 雅江	校長
窪田 崇	事務長
杉本 邦夫	学生課・キャリアサポート課 課長
小笠原 努	教務部長・理容学科長
中村 和也	理容教員
佐々木 久仁江	美容学科長
渡辺 れほな	美容学科主任
齊藤 昌利	美容教員

4. 進行状況

- | | |
|-------------------------|-------------|
| (1) 開会（挨拶、配布資料確認） | 16:00 |
| (2) 出席者紹介（評価委員、窪田学園教職員） | 16:00~16:05 |
| (3) 理事長・校長挨拶 | 16:05~16:10 |
| (4) 自己点検評価結果の解説及びその評価 | 16:10~16:15 |
| ①重点的取り組み項目（評価判定） | |
| ②教育理念・目的・育成人物像等（評価判定） | |

- ③学校運営（評価判定）
- ④教育活動（評価判定）
- ⑤教育成果（評価判定）
- ⑥学生支援（評価判定）
- ⑦教育環境（評価判定）
- ⑧学生の募集と受け入れ（評価判定）
- ⑨財務（評価判定）
- ⑩法令等の遵守（評価判定）
- ⑪社会貢献（評価判定）
- ⑫国際交流（評価判定）

(5) 質疑応答・意見交換 16 : 15

(6) 閉会 16 : 30